

調査研究等事業報告書  
(個人用)

一関市議会議員 槻山 隆 様



報告年月日	平成30年 11月22日		
実施日(期間)	平成30年 10月23日~平成30年 10月23日		
実施場所 (行先等)	東京都港区 ユニホーム株式会社		
事業区分 (いずれかに○)	研 修	○調査研究	要望・陳情活動 会 議
事業内容	使用済紙おたつの再生、資源化について		
報告者	一関市議会議員	那 俊 茂 一 郎	
報告票頁	1. 目的・・・・・・・・・・別紙(1) 2. 概要・・・・・・・・・・別紙(2) 3. 参考とすべき事項・所感・・・別紙(3)		
主 要 資 料 名			

## 別紙

### 1. 目的

施設等から大量に出る使用済み紙おむつを焼却処理をしないで適切に処理する方法を検討している。

### 2. 概要

ユニ・チャームという会社で、紙おむつの再生を手掛けているという話を聞き、視察調査のお願いをした。

今は実証試験の段階で、試験地は鹿児島県志布志市で行っているとのこと。使用済み紙おむつを密閉したプールの中で開いて洗浄洗い、乾燥、オゾンで殺菌、漂白して新パルプと同じように新しい紙おむつにするという工程であった。ほぼ実証試験も終わり、2020年から本格的に操業、プラントの売り出しを始めるとの事。

### 3. 参考とすべき事項・所感

産業廃棄物的な状況で増え続ける、紙おむつ、衛生的な観点からも焼却しか方法がないと思われる使用済み紙おむつを、汚物を匂いないように水の中で開き、そのまま洗浄して、再生資源まで高める方策はこれからの社会の進展に大いに役立つとあって来た。

ただ、汚物処理するため、プールの中で行うことは、洗浄水の処理まで考えるなら、別の方法も検討に値すると思う。

そして、再生したパルプをまた紙おむつにするという風聞があると話された。

人口5万人で使用済み紙おむつが年間2000トン出ると言われている今、

この一崗では、この割合で行くと、年間5000トンが出るのか、こちらでもそれなりに、再生・資源化の検討は必要だと感じた。